

編集·発行 公益財団法人AFS日本協会岩手支部 支 部 長 瀧

> 事務局 **〒**028−3452

岩手県紫波郡紫波町 片寄字四ツ屋300 松田気付 (公財) AFS 日本協会 岩手支部 TEL/FAX 019-673-6607 メール: info-iwate@afs.or.jp http://www3.afs.or.jp/tohoku/iwate/

印刷 制 (有)九戸印刷 (久慈市)

AFSWart

私のホストファミリー体験談

公益財団法人AFS日本協会岩手支部長

忍

今年の春の岩手支部の留学生は、オーストリアのエレナ、 セメスター生(不来方高校)です。66期派遣生は2名。 関係各所に厚く御礼申し上げます。

我が家で10か月間ホストした、アルゼンチンのジュリエ タが私に残していったたくさんのギフトの中から、3つを 紹介します。

まずジュリエタには、いつも"笑顔"で"ありのまま"で いることの勇気を教えてもらいました。ホストママの私の 小言や心配にも彼女は、「ショウガナイ、ジュリエタナン ダカラ。」と逆に私が彼女に励まされ、いつの間にか問題 が問題ではなく、彼女を受け入れていました。いつの間に か私も、今のままの自分でいていいのだと、楽になる感覚 を味わいました。ジュリエタマジックです。

次に、言葉を覚えるためには、使わなければ簡単には覚 えられないということです。彼女は、1月に日本語試験を 受けました。「およそ」「あらかじめ」などの意味が分から なかったと話していました。「そうだよね、普段そんな難 しい言葉遣わないよね。」と、日頃の自分の会話のボキャ

ブラリー不足を反省しました。もちろん試験のための日常 会話ではありません。でも、将来たくさん使える言葉を持 っている方が、世の中を渡っていくためには大きな武器に なるはずです。今となっては、子ども達と話をするときは、 少し難しい言葉をつかってみます。時々、外国語を入れて います。「何それ、わかんない。」と言われたらチャンスです。

最後に、ジュリエタは我が家に滞在中、地域の秋祭りの"さ んさ踊り"に参加しました。地域の方々に可愛がられ、忘 年会にまで誘われるほどの人気者になりました。そればか りかではなくなんと、お祭りでジュリエタを撮った1枚の 写真が2021年中学校の「新しい社会」地理の教科書に 「東北伝統文化体験をする外国人」として、教科書に採用 されました。ジュリエタは、「外国人代表?」になりました。

ジュリエタのお蔭で、素敵な異文化交流の輪ができまし た。彼女の留学生活に関わっていただきました皆様に、心 から感謝申し上げます。ありがとうございました。

そして、「Julieta! Gracias!!!

【AFS 岩手支部 - #AFSeffect で繋がろう】 http://www3.afs.or.jp/tohoku/iwate/

第66期年間派遣生紹介(2019年出発)

冬出発・コスタリカ派遣 夏出発・アメリカ派遣

〈ん (八戸聖ウルスラ学院)

さん (水沢高校)

「いわてのお米、 とてもおいしい!」

JA全農いわて様には2010年より留学生のホス トファミリーに支援米を提供いただいております。 異文化交流への温かい応援に感謝申し上げます。



【留学体験記】(帰国生)

64期イタリア派遣

(盛岡第一高校)

まずはこのような留学生活を振り返る機会をいた だき本当にありがとうございます!早速ですが、私 はイタリアに1年間留学してきました!一言に感想 というとまとめきれないので、私が現地の生活で驚 いたことをいくつか紹介させていただきたいと思い ます!まずは、学校が終わるのがとても早いことで す。イタリアでは13時に学校が終わるので午後から は自由の身です!そして帰ったら家族全員でお母さ んの手作り料理を食べ、食後は寝たり映画を見たり ゆっくりします。こんな生活、ほんとに天国かと思 いました。ただし宿題や自主学習をするかどうか自 体、自己責任になっているのでその面では自分に厳 しくならないといけません。次に、朝に雪が降った ら必ず休校になることです。除雪機が普及していな いので通学バスを運行させるのに危険だという理由 らしいですが、どう考えても学校のやる気がないだ けだと思います (笑)。パラパラ降った程度でも休み になります。こんな訳で冬の時期はしょっちゅう学 校が急に休みになります。羨ましいですね、、、。

ここからはイタリアの食文化について。まずイタリアの食べ物にまずいものは一切ないと断言します!自分でもびっくりするくらい全ての料理が美味しくて食事面で困ったことは特にありませんでした。強いて言うなら美味しい分、カロリーを計算する勇気が出ないことです。ピザやパスタ、肉料理にスイーツまで美味しいものに溢れています。あと、オリーブオイルの消費が凄まじい!生野菜のサラダにもパスタにもほとんどの料理にオリーブオイルを大量に使っています。生野菜もオリーブオイルでギトギトにしてしまいます。これでも美味しいからという



理由で毎日の ように食べて いた自分が恐 ろしいです。

恵まれ、毎日が本当に充実していました。イタリア人の心からの優しさに触れ、圧倒され、おもてなしの国である日本から来た自分が恥ずかしいと思う事さえもありました。楽しいことがあった反面、その分、悩み、孤独を感じた時もたくさんありました。ホストチェンジも経験しました。イタリア人とまじめな喧嘩をした事も何回かありました。何も出来ない自分にイライラして生活を楽しめない日々もありました。帰国して半年以上経った今、振り返れば、あの時の悩みもちっぽけなものに感じてしまいますが、一人で沢山悩んで苦しんだ時には涙を流したあの時間が今の自分や将来の自分に自信と勇気を与えてくれる存在になっていると実感しています。

辛い事、やりたくない事、理不尽な事も楽しんでやってやろうと思える自分がいます。これからはまず、大学入試が待ち受けていますがその先の将来においてもここまで成長できた自分に自信を持っているいろな事に挑戦していきたいです。最後に、留学という貴重な体験をさせてくれた家族、手厚いサポートをしてくださったAFSの方々に感謝したいです。ありがとうございます。

65期コスタリカ派遣

(盛岡第四高校)

コスタリカでの1年の生活は、日本とは違うこと ばかりで1日1日が刺激的な日々でした。

最初コスタリカに着いた時は、スペイン語が全くわからず、上手く友達や家族と話せず落ち込んだ時もありましたが、それでもみんな私に親切にしてくれたりスペイン語を教えてくれたりしました。時間の経過と共に言葉が分かるようになっていき、コスタリカ人と話す機会や友達と遊びに行くことも増え、コスタリカ人らしい生活が送れるようになりました。また、日本とは違う環境の中で生活していくうちにコスタリカや日本、また、自分のことについても考える機会が増えました。以前は、自分の将来について具体的なイメージを持てていませんでした。しかし、この留学を通して様々な人や考え方に出会い自

分の視野を多様化することができ、将来のイメージ を広げることができました。

これから、この留学で得た経験を生かし、たくさんのことに挑戦して行きたいです。また、コスタリカに家族と呼べる存在がいるのでいつかコスタリカに帰って会いたいです。



【留学体験記】(帰国生)

64期フィンランド派遣

(盛岡白百合学園高校)

フィンランド留学を終え、約1年が経とうとしています。留学期間、帰国してからの期間、ともに、あっという間に過ぎていきました。今は時々、昨年のことを思い出しながら過ごしています。

フィンランド留学は私に、たくさんの学びを齎してくれました。関わった全ての人から学ぶことがあり、その学びは特に心の面の成長に繋がりました。自分自身だけでなく、友人からも成長したねと言われ、本当に留学をしてよかったと思っています。

プラスに捉えることができた留学ですが、苦労もありました。それは、フィンランドの冬です。冬至の頃は、日照時間が5時間ほどと、非常に短いものでした。陽の光を浴びずに過ごす日々というのは、想像以上に、気分が沈むものです。そんな中、フィンランド人は夏を楽しみに頑張っていました。その姿を見て、明確な目標を掲げることでモチベーションを高く保つことができ、善循環が生まれるのだなと感じました。一方で、冬の雪景色は大変美しく、気分が明るくなりました。写真などで見る銀世界が



かった期間だったと今思い返して思います。

帰国してからのはじめの数ヶ月は、逆カルチャーショックを受ける毎日で、文句ばかり言ったり、日本文化を否定ばかりしていたりしていました。しかし今は両国の良い点、改善点を客観的に見るようになり、異文化理解を深めています。この理解をさらに深めるとともに、異文化交流・理解をより多くの人にしてもらえるよう、AFS体験生の一員として活動していきたいと思います。そして最後に、留学という素晴らしい経験をするにあたってサポートしてくださったAFSの方々、家族、そして友人には大変感謝しております。

【受入校より】-留学生を受け入れて-

岩手県立一関第一高等学校

教諭 軽石 美佐

昨年度、今年度と本校では留学生を受 け入れてきました。本校からは3年生佐 藤辰哉(平成 29 年度スイスへ留学)も 帰国後無事に卒業見込みとなり大学受験 をするに至りました。生活の様子からも、 留学で様々な経験を積んできた成果を感 じます。また、今年度本校で受け入れた◇ マイヤ・ムホネンも、日本語が大変上達 🗘 し周囲と十分に意思疎通ができるように ❖ なって、部活動や授業に楽しく参加して ❖ います。来日当初はひらがなの読み書き◆ が出来る程の日本語力だったのが、今で ♥ はN4レベルの言葉を理解し生活にも 不便がない程に成長しました。修学旅行 なども経験し、留学生本人はもとより周 囲の生徒にとってもよい経験となっていく るようです。それもひとえにホストファ [♦] ミリーの皆様やAFS職員の皆様のご支 ♪ 援があってのことと思います。本校にお いて貴重な国際交流の機会を作っていた **→** だきまして、心より感謝申し上げます。◆

ホストファミリー体験記

小川 春美

2018 年 8 月の末から 2019 年 2 月初旬まで半年弱、我が家に滞在したメルセデス(愛称、メルちゃん)は、アニメとコスプレが大好きなアメリカ人の女の子です。そのメルちゃんに私が感謝していることは二つあります。一つ目は、何でも「おいしい!」と言って食べてくれたことです。毎晩、晩御飯の写真を撮っていました。私たちにすれば「え?こんなんでも写真撮るの?」みたいなおかずの時も写真を撮っていました。また現代っ子にありがちなアレルギーとかも全くありませんでしたし、食事の面では気を遣うことがなかったので、大変ありがたかったです。2 点目は、こちらに滞在中 1 度も病気をしなかったことです。お医者さんに連れて行くこともなく、毎日元気に楽しく学校に通ってくれて本当によかったです。学校でお世話になった先生方、親切にしてくれたお友達、いろいろ気にかけてくれた近所の方々、そしてAFSと皆さんに心より感謝申し上げます。

平成31年(2019年)春セメスター受入生

The same of the sa

こんにちは

レオナ(不来方高校・オーストリア)

My name is Leona Waldenberger and I am a 17-year-old student from Austria. I am very excited about the opportunity to come to Japan because being able to experience another culture, especially one as unique as the Japanese one, is very interesting to me. I live with my parents and my sister in a small town in the northern part of Austria. In my free time I like to read and to do something with my friends. My favorite subjects in school are English, History and Psychology. I also love playing with my grandparents's dogs and taking them for walks. $\mathcal{E}\mathcal{F}\mathcal{K}\mathcal{S}\mathcal{L}\mathcal{L}$!

受入生から皆さんへ

たくさんの思い出を ありがとう!

秋架け橋プログラム受入生 八戸ウルスラ学院高校・カンボジア

青森のおもりで



(ヒーン・ペンチャン

ヒーソペンチャン 青森にきて6か月がたちました。 青森は寒りですが、美しくて、すばらしい

ところです。 私は大好きなホストファミリーと三戸にす んでいます。ホストファミリーは本当のかぞ くのようにせっしてくれまち。毎日おいしり ごはんを食べることができます。私はじぶん の本当の家にいるようにくつろくことができ ます。ホストファミリーともごした時間は、 これからもずってたいせつな思い出です。 私はホストスケールのウルスラ高校が木紙 きです。先生も生徒もみなしんせつで、おも しるいじゅぎょうがまります。しょどうやき

どうのじゅぎょうがとても楽しかったです。 ほうかごは、友だちてきまざまなぶがつをた りけんしました。 AFS岩手ではたく込んのでありがありま した。ほかの留学生ともしりあうことができ ました。リンゴヤぶどうがりをしたり、スピ

一 チコンテストにきんかしたり、アイススケ -トもしたりと、楽しい思り出がたくさんあ ります。

すばらしいホストファミリーとホストスク - ルのおかげで、私はじゅうじつした留学生 活をおくることができました。

6 か月というスピかいきかんでしたが、み なさんと出会えたことに本当にかんしゃして います。

年間受入留学生

7	々.	7	tr	文	ŧ	ŧ	思	3	た	2	£	会	t	私
良	12	多	7	15	L	£	2	٨	Xn	た	3	2	1	は
か	٦	<	た	t	3	L	7	0	に	<i>tz</i> "	2	tz	₹"	2
7	7	0	7"	V)	か	17	٧٠	人	日	17	6	人	L	こ
12	ŧ	2	#	な	2	0	£	٤	本	7"	7"	Di"	tz	12
7"	か	۲	0	۲"	TZ	日	L	会	盏	ſţ	教	み	0	来
7	1	を	2	0	7"	本	た	3	包	ti	え	٨	日	3
0	L	学	n	学	Ŧ	n	n	2	学	< \	7	な	本	前
	*	び゛	-	校	۰	高	7"	٤	U"	B	. (岩	孟	に
	L	£	年	Ø	童	校	12	か゛	tz	本	n	手	€	岩
	7	L	0	1	道	を	<	₹	٧١	の	走	12	n	手
	٧,	た	間	7"	部	tz	t	n	۲	文	L	2	\$	に
	走	. 0	12	צ	E	٧١	٨	を	思	15	た	٧١	b)	2
	Ŧ	支	日	۲	え	, lj	n	7	٧,	£	0	7	ŧ	٧١
	0	え	本	は	5	6	1	tz"	ま	<	ŧ	多	t	7
	2	7	ع	۲	U"	7	~"	す	L	Ŋ	, de	<	7	19
	2	. (74	7	£	3	ン	ıţ	tz	か	3	o	7"	ŧ
	12	n	ız	ŧ	L	n	۲	.4	٥	٧١	3	2	L	矢口
	来	た	7	楽	tz	は	ĸ	3	tz	す	を	۲	tz	Lj
	れ	人	v	L	0	£,	行	٤	<	3	持	ŧ	٥	£

......



ぜなら からもうその人と会えないかもしれないか 浴衣や着物を着た 7 E 他方、最一四本与日本語本一生懸命 その一方は人なはだんごや 本の文化に ルゼン すしは大好きです 時にもんなども で も 2 7 に着いてからまだ 3 て最初か お祭り 一度公り t " 生活 ムな人 (' ‡ 5 0 に 行 つ 0 好きじゃない 興味があ 勉強 jt M どが を続

出行手で アニメのある生きる

私が日本 ノはアンメやゲ 然してみまいること 焼きがどれまび美味しいかにつってもても子とれてい 夢を達成することか はアミメセヤラクタ てたり焼ぎを試しい 松のクールない そしてコンピニは絶対回東一切でするっすべてのメロコパンが大好なしでする 会もありましたもちまのパ バナナヤ ムに関和 夢のすべてもなめくくるにはこ という焼きなどの見なな食べ物を感をからはかでともおいいいでかってりしてかり はたくとんのことを文土 っていましたとう、私はころがいまする。最美をつくしますできる方で日本語のも国強し続けまする。最近なるという私の私はらく全に法轄になりアニナのアニメ及優になるという私の人が、のように見てなました。これまり。 のは白百合の化るの写風祭がか いていましてが私は同様に驚くしてとないのことで終験することが ン屋が大勢きじするこまするこ れはそともまべたうと、食物を良べる機 覧しくべ したるなりかったでするたこ ぎょとれていた。私が初めてッピに以外にもチョフ べきましたをからる いないなそらく私 ムの大のソル ったなっ ソも



00000

どうも なりが

またいつか会いましょう

秋セメスター受入生 盛岡白百合学園高校・アメリカ

メルセデス・バンカー

•••••••

お世話になりました

(不来方高校・アルゼンチン) ジュリエタ・マルコベッキオ

